

質問日	令和2年9月29日(火)		質問方式	分割方式			
質問順位	2	会派名	自由民主党浜松	議席番号	28	氏名	加茂 俊武
表題	質問内容						答弁者の職名
1 放課後児童会について	<p>(1) 子供たちの健全育成のために尽力いただく支援員が、職として選択でき、自らの向上により昇給できる環境づくりが大切であり、それが子供たちの健全育成につながる。そのためには支援員の報酬引上げや児童数に応じた配置など、待遇の改善について早急に対応する必要がある。そこで主任支援員の採用の現状について伺う。また、支援員の待遇改善について委託事業者への要綱や補助の見直しなどを含めた考えを伺う。</p> <p>(2) 特別の支援を必要とする児童についての現状と今後の対応について伺う。</p> <p>(3) 3密対策、熱中症対策などの環境整備について今後の方針を伺う。また、一児童会当たりの適正な児童数について市の考えを伺う。</p>						伊熊学校教育部長
2 学校施設の給水設備について	学校施設の給水設備の改修について、今後の方針を伺う。						伊熊学校教育部長
3 下水道について	<p>(1) 汚水処理方式には、公共下水道と合併処理浄化槽があるが、下水道の今後の整備方針について伺う。</p> <p>(2) 一般的に合併処理浄化槽の点検や清掃等にかかる費用と下水道使用料との間で差が生じているのが現状である。汚水処理にかかる費用負担の公平性の観点から、負担を統一することで、合併処理浄化槽への転換を促進できるのではないかと考えるが、考えを伺う。</p> <p>(3) 下水道整備計画区域外において、複数の家屋が共同で使用する大型の浄化槽が存在するが、こうした施設の数や老朽度などの現状と、施設を更新する場合の市の対応の有無について伺う。</p>						寺田水道事業及び下水道事業管理者
4 排水機場について	<p>市内、33箇所の排水機場には排水能力の低いものや老朽化しているものが多い。また、突発的な集中豪雨においては、運転管理や運転人の負担が増し、危険を伴う。令和元年11月議会の答弁では、軽減を図るため、遠隔監視、制御などの排水管理システムの導入について検討を進めるとしている。そこで下記について伺う。</p> <p>(1) 排水機場の老朽化対策及び遠隔監視、制御の進捗状況と今後の計画について伺う。</p> <p>(2) 運転マニュアルの作成状況を伺う。</p>						山下農林水産担当部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
5 市有財産について	<p>本市は保有する公有財産の有効活用やコスト削減などを行う手法として、ファシリティーマネジメントの考え方に基づいた資産経営に取り組んでいる。売却も一つの手法であるが、資産を活用するという点については消極的に感じる。</p> <p>そこで今後の市有地に関する資産経営についての考えを伺う。</p>	森本財務部長
6 デジタル化と行政経営について	<p>(1) デジタルガバメント閣僚会議においては、令和4年度中に、ほとんどの住民がマイナンバーカードを保有していることを想定しているが、現状のマイナンバーカード交付状況とマイナンバーカード普及による証明書発行業務の減少化をどのように分析するのか伺う。</p> <p>また、マイナンバーカード普及に伴う発行、更新の業務負担はどうであるか伺う。</p> <p>(2) 今後デジタル化が進む中で職員配置や採用において大きな変化が生まれる可能性があり、デジタル化が難しいと思われる分野、デジタル化が進む分野などの見極めが必要となる。</p> <p>そこで将来を見据えた人材確保について、現在の市の考えを伺う。</p> <p>(3) 災害など突発的な要因により、現場対応が必要な分野の現状の職員数や体制について、どのように分析しているのか伺う。</p>	<p>奥家市民部長</p> <p>金原総務部長</p> <p>〃</p>
7 浜松市商業者支援事業費補助金について	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の商店街において店を閉めるところが増えている。もともと大型店舗の進出などにより厳しい状況であった地域密着型商店街は、さらに空き店舗が増えることになった。地域の商店街は、こども110番の家や地域活性化において、欠かせない存在である。</p> <p>そこで、浜松市商業者支援事業費補助金について補助金利用の現状と、今後、コロナ対策として、事業者にとって申請・利用がしやすいように、改修費の負担や制度設計についてなど見直す考えはないか伺う。</p>	藤野産業部長
8 観光政策について	<p>(1) 新たな観光政策について今後検討していく必要があると思うが、現時点での本市の方針について伺う。併せて貸切バス事業者への支援について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍でも近場でのサイクリングは健在であると感じる。しかし、コロナの影響でイベントが開催されないこともあり、整備や点検が行われず、倒木や浜名湖周遊自転車道の危険箇所が増えているように感じる。サイクルツーリズムに大切なのは、魅力的な景観以上に利用者の安全で</p>	石坂観光・ブランド振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>ある。そこで浜名湖周遊自転車道の整備と安全対策について市の考えを伺う。</p>	
<p>9 不測の事態への対応について</p>	<p>令和元年9月議会答弁において、中期財政計画における不測の事態とは、大規模災害や、リーマンショックのような世界的な経済不況などの非常事態を想定しており、このような不測の事態が生じて、安定的かつ継続的に住民サービスを提供できる強固な財政基盤の構築に今後も取り組むとのことであった。コロナによる不測の事態の今、財政面での対応について伺う。</p> <p>(1) プライマリーバランスについては、ここ数年黒字が続いている。不測の事態の中、本市のプライマリーバランスについての考えを伺う。</p> <p>(2) 現在の財政状況は、令和元年度決算速報値によると将来負担比率はマイナス27%、実質公債費比率は5.5%と平成30年度決算に比べ、より健全化している。市債残高は中期財政計画よりも169億円少ない4484億円となった。まさに健全財政を堅持してきた結果であり、不測の事態をに備えたところの結果だと思う。減収が予測される不測の事態の今、必要な事業への予算措置について方針を伺う。</p>	<p>森本財務部長</p>